

情報パーク やまなし

No.13 - 2

発行者：山梨県地域情報化推進協議会
(山梨県企画部情報政策課内)
Tel .055 223 1418 Fax .055 223 1421
URL : <http://www.fynet.or.jp>

特集：

「全国マルチメディア祭2001 in やまなし」 が開催されました

「全国マルチメディア祭2001 in やまなし」が、アイメッセ山梨ほか県内 8 箇所を会場として、11月 8 日（木）から11日（日）までの 4 日間に渡って開催されました。

8 日にアイメッセ山梨 C ホールにて開催された地域情報化サミットには全国各地から約 1,300 人が、9 日から11日まで甲府市・都留市・下部町など県内 8 箇所の会場で広域的に開催された地域情報化フォーラムでは 5,875 人（こうふ e-life シアター 2,000 人、東八広域フォーラム 130 人、八田村フォーラム 400 人、マルチメディアフォーラム@都留 915 人、大月フォーラム 380 人、峡西広域連携フォーラム 1,600 人、八ヶ岳・甲斐駒フォーラム 250 人、しもべ情報化フォーラム 200 人）が、8 日から10日までアイメッセ山梨 A・B ホールにて開催した地域情報化フェアでは、昨年の「2000 山梨テクノフェア & マルチメディアエキスポ」の入場者数の 3 倍にあたる 37,373 人（1 日目 10,214 人、2 日目 10,018 人、3 日目 16,141 人）の方が来場されました。

本協議会が、広く県民に最新の情報機器や通信技術などを紹介し、情報化への理解を深めていただく機会として、一昨年からテクノフェアと合同で開催しておりますマルチメディアエキスポは今年で第 7 回目となりますが、本年度はこの全国マルチメディア祭・地域情報化フェアと合同で行われました。

本協議会では、「全国マルチメディア祭2001 in やまなし」実行委員会の構成団体として、この祭に企画段階から積極的に参画しております。

初日の開場式では、マルチメディアエキスポの主催者として本協議会を代表し小林宏武会長が挨拶を行い、IT が支える新しい時代への期待を述べられたあと、21 世紀初めてのテクノフェア & マルチメディアエキスポの開催を祝してテープカットが行われました。



アイメッセ山梨展示会場内のようす



テープカットを行う小林会長ほか主催者・来賓の方々

最大規模の出展

今年、マルチメディアエキスポの出展企業・団体が昨年より10増え35企業・団体（フェア全体では、198企業・団体）となりました。注目の次世代型携帯電話のデモンストレーション、ADSL やCATV 等による高速インターネットなどの情報通信関連の展示から、画面に指で触れて操作できる大型の表示装置等の情報機器、3D映像体験シアター、GIS や行政向けの電子自治体アプリケーション、インターネットを用いた求人求職サービスまで幅広く展示されました。

各出展企業・団体それぞれで工夫をこらした体験型の展示や、各種のイベント・プレゼンテーションが行われ、展示ブース内は最新の機器やソリューション・サービスを体験しようという幅広い年齢層の一般来場者の方々を始め、最新情報の収集・商談を目的とされた企業・自治体の関係者の方々など、すれ違いができないほどの多くの人であふれ、マルチメディア・IT に対する関心の高さが感じられました。

会場のようす



入場受付には長蛇の列



マルチメディア機器を体験



来場者であふれる展示会場



次世代の携帯電話も登場



出口での抽選会も大人気

出展いただいた企業・団体 (マルチメディアエキスポ分)

御協力ありがとうございました。

(50音順・敬称略)

(株)アームス NHK 甲府放送局 NTT インフラネット(株) (株)NTT-ME
NTT コミュニケーションズ(株) (株)NTT データ (株)NTT ドコモ
(株)NTT ファシリティーズ 沖電気工業(株) (株)オネスト (株)関電工
(有)グッドワーク KDDI(株) (株)甲府情報システム (株)コンピュータマインド
ジェイフォン(株) (株)テプコシステムズ 東京通信ネットワーク(株) (株)東芝
東電広告(株) (株)東和エンジニアリング 日本システムウエア(株) 日本電気(株)
(株)日本ネットワークサービス 日本無線(株) 東日本電信電話(株) (株)日立製作所
富士通(株) 松下電器産業(株) 三菱電機(株) 山梨県 CATV 連絡協議会
山梨地域インターネット協会 山梨リコー(株) Linux Users Group Yamanashi
(株)ワイ・シー・シー

C ホールでは、8日に全国マルチメディア祭実行委員会の主催で地域情報化サミットが開催され、CGを用いた山梨県の紹介、マルチメディア祭の詩の合唱、タイ国との衛星中継、立命館アジア太平洋大学助教授の永松利文さんによるマルチメディアの楽しさについての基調講演、東京工科大学教授の清原慶子さんをコーディネーターに4名のパネリストによる、地域の情報化の進め方についてのパネルディスカッションが行われ、ぎっしりと席をうめた1,300人の参加者が熱心に耳を傾けていました。

総務省ゾーンも大盛況

C ホール及び屋外展示場には過去最大規模の総務省の出展ゾーンが設置されました。こちらでは、幅広い年齢層の数多くの来場者に対して、最先端の技術から放送・電波のしくみなど生活に身近な技術を実際に体験する中で、情報通信技術や国の政策についてPRを行うことができました。

総務省コーナー

ステージ上でのモーションキャプチャ装置を使った実演や電波についてのクイズ大会、インターネット活用啓発のためのビデオ上映、防災無線やデジタル放送の紹介、電波監視車やラジコン模型等の展示が行われました。

通信総合研究所コーナー

誰もが楽しめるパラボラアンテナの原理や風船電話の体験、さわれる3Dディスプレイによる展示などが行われました。

通信・放送機構コーナー

バーチャルリアリティ技術を用いた脳外科手術のデモや福祉支援ロボットなど最先端の研究成果が展示されました。

郵政コーナー

郵便・通信の歴史紹介、移動式ATM車の展示、年賀八ガキの作成・販売などが行われました。



子どもに大人気の電波くん



人でにぎわう総務省ゾーン

協議会コーナーも充実

協議会では、アイメッセ会場のコンセプト・県PRゾーン内にブースを設けました。そこでは、県民誰もがITの恩恵を享受できるように県や市町村などが連携して整備を進め、電子自治体の実現を支える基盤となる、庁舎や公共施設を結ぶ公共用ネットワーク「山梨コミュニケーションズネットワーク（YCN）」を大型の展示パネルによって広く来場者に紹介しました。

また、YCN上において県民や企業、関係機関の参加を得ながら、教育、医療、行政の各分野で行われているITを活用するための実証実験や、山梨県が構築したシステムのデモンストレーションを、大画面のスクリーンとプロジェクタを用いて行いました。

さらに、協議会の活動とYCNを広く広報するために、「情報パークやまなし・マルチメディア祭号」を発行し、地域情報化サミット会場、アイメッセ展示場入口受付、協議会ブース等にて配布しました。

コンセプト・県PRゾーンには、協議会のゾーンのほかに、中央コリドー高速通信実験プロジェクトのデモンストレーション、地域資料のデジタルアーカイブ化に取り組むNPO、ITを活用した障害者の社会参加活動を行っているボランティア団体、大学等のブースが出展されました。

また、ゾーン内のミニステージでは、出展企業の協力によるセミナー、日本珠算連盟山梨県支部の協力によるフラッシュ暗算大会など様々なイベントが繰り広げられ、アイメッセ会場開催中の3日間とも人が絶えることがありませんでした。



県PR・コンセプトゾーン



協議会のゾーン
デモンストレーションとパネル展示

アイメッセ山梨会場最終日の10日には、Cホールにて「ロボコンやまなし2001」が開催され、中学生から社会人まで計253チーム・519名の参加者により、自作のロボットによる熱い競技が繰り広げられ、会場の雰囲気盛り上げてくれました。



自作ロボットによる競技



オペレータの腕も重要

今年度のマルチメディアエキスポは全国マルチメディア祭との共同開催となり、数々の併催イベントが行われたほか、ITに対する関心もさらに高まる中、県内外から、まさに老若男女を問わず幅広い年齢層のお客様を多数お迎えすることができ、山梨県の地域の情報化の足場をさらに強固なものにすることができました。

御協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

ギガビットネットワークを用いた遠隔講座

IT キャリアアップ講座 実証実験はじまる

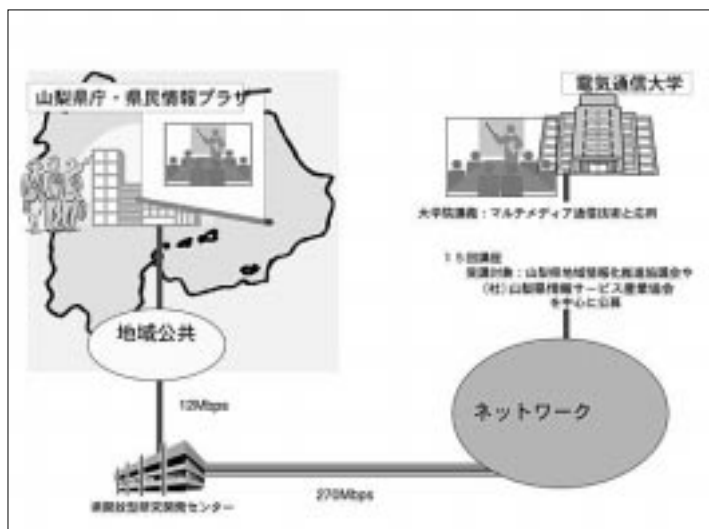
県では、ネットワークを活用した公共アプリケーションの構築に向け、平成10年度より種々の実証実験を行ってきています。

本年度は、研究開発用高速通信ネットワークである「ギガビットネットワーク」を活用し、電気通信大学の提供する産学共同教育プログラムを県内会場で双方向で受信するサテライトスクール実験を行っています。

産学共同プログラムとは、文部科学省が職業人のキャリアアップ推進の一環として計画するプログラムで、電気通信大学大学院情報システム学研究所の研究者と企業の研究者・開発技術者が共同講義（オムニバス）方式で開講するもので、本年度は「マルチメディア通信技術と応用」「情報セキュリティ」の2科目が開講されています。

実験では、ギガビットの高速通信ネットワークを活用し、遠隔の大学で行われる公開講座を山梨県内のサテライト会場で臨場感あふれる受講を可能とするシステムの開発、遠隔地の複数の学校間で共同授業を行う上で必要な教材や学習習熟度進捗状況等の共有を可能とするシステムの開発、VODサーバに蓄積された映像情報をアクセス系ネットワークの伝送能力に応じてダイナミックに可変制御・出力するシステムの開発に係る実証実験を行っています。

本実験の実施に際しては、山梨県地域情報化推進協議会及び（社）山梨県情報サービス産業協会と連携して会員企業から受講希望者を募集したところ、平成14年2月までの全15回の講座に計50名近い受講希望者があり、遠隔教育への期待の高さがうかがわれます。



臨場感あふれる講義



熱心に講義に耳を傾ける受講者

講義は、大学後期がスタートする10月から毎週金曜日の午後の90分間、山梨県庁情報政策課または県民情報プラザ会議室において開催されており、日程（予定を含む）は以下の表のとおりです。

「IT キャリアアップ講座」日程

1	10月5日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	マルチメディアと分散協調システム （岡本敏雄・電通大）
2	10月12日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	学習コンテンツの標準化と新しい教育システム1（伊藤健二・富士総研）
3	10月19日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	学習コンテンツの標準化と新しい教育システム2（伊藤健二・富士総研）
4	11月16日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	e-business 通信インフラと e-learning （常盤祐司・日本 IBM）
5	11月16日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	標準化と新しいビジネスモデル （仲林清・NTT-X）
6	11月30日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	マルチメディア通信を支える超高速フォトニックネットワーク（1）（2） （三木哲也・電通大）
7			
8	12月14日（金）	県民情報プラザ2階会議室	データマイニングの手法と実際、テキストマイニングと情報統合 （松居辰則・電通大）
9			
10	12月21日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	分散協調学習システムにおける学習者間相互作用スキーム標準化の動向 （古賀明彦・日立製作所）
11	1月11日（金）	県民情報プラザ2階会議室	マルチメディア分散協調学習支援システム （原 潔・日本ユニシス）
12	1月25日（金）	県民情報プラザ2階会議室	iDC と知識マネジメント （大橋正和・中央大）
13	2月1日（金）	県民情報プラザ2階会議室	ATM ネットワーク技術と次世代通信技術の動向1（宮保憲治・NTT）
14	2月8日（金）	県庁北別館マルチメディアルーム	ATM ネットワーク技術と次世代通信技術の動向2（宮保憲治・NTT）
15	〃	県庁北別館マルチメディアルーム	CSCCL と協調メモリ（岡本敏雄・電通大）

〇〇〇その他のギガビットネットワーク利用情報〇〇〇

さる10月13日（土）から18日（木）にかけて「みやぎ国体」が、また10月27日（土）から29日（月）にかけて「障害者スポーツ大会」が宮城県において開催されました。

今回は、宮城県と全国の自治体、大学等が協力し、競技の模様を撮影した映像の配信・受信実験が行われました。

映像は、宮城県内のCATV各局のエリア内で実施される競技（仙台スタジアム：サッカー、塩竈市体育館：バドミントン、気仙沼市総合体育館：柔道）について、CATV回線等を活用して、宮城県内の公共施設等で放映するとともに、ギガビットネットワークを利用して、山梨県・富山県・高知県などに伝送されました。本県ではこの映像を受信し、県民情報プラザロビーの大画面スクリーンで、広く一般県民に向け情報提供を行いました。

これにより大勢のみなさんが、テレビ放送などでは中継されないさまざまな競技映像をご覧になりました。

なお本県では、平成13年1月に冬季国体「かいじきらめき国体」の模様をギガビットネットワークを利用して全国に配信したところであります。

YCN（山梨コミュニケーションズネットワーク）の整備進む 小瀬スポーツ公園情報サイト開設

県では、県民誰もがITの恩恵を享受できるように、市町村などと連携して庁舎やその他公共施設を結ぶ公共ネットワーク「山梨コミュニケーションズネットワーク(YCN)」の整備を進めています。このネットワークは、防災や医療、教育などさまざまな分野で行政サービスの高度化に利用されます。また、インターネットと接続されて、さまざまな情報やコミュニティを形成する場が提供されます。

現在、県立美術館の収蔵品を高精細なデジタル画像で見ることができる「仮想美術館システム」、県民文化ホールなど県内7つの公共文化施設の催し物の検索やチケットの購入予約、貸出施設の仮予約が行える「文化情報ネットワークシステム」などのシステムが構築され稼働中です。

このほど県では新たにYCNの一環として、小瀬スポーツ公園の「スポーツ情報サイト」を開設しました。このサイトでは、同公園内の体育館やテニスコートなど貸出施設の空き情報の確認・予約をネット上で行うことができるほか、各種大会やスポーツイベント、シェイプアップやトレーニングの基本、県内スポーツ施設の情報など、スポーツに関する最新情報を得ることができます。

また、スポーツチームのメンバーや対戦相手の募集ができる「スポーツ掲示板」、各種大会やイベントの情報や試合結果が毎月電子メールで配信される「月間小瀬メールマガジン」なども充実しています。

さらに、テレビ会議システムを利用して、地域振興局や市町村役場など離れた場所から、同公園のスポーツプログラマーに健康相談を受けることも可能となります。

URLは <http://www.kose-sp.pref.yamanashi.jp/> です。



小瀬スポーツ公園「スポーツ情報サイト」
トップページ

県ではこれからもYCNの実現にむけ、県民のみならず企業、関係機関の参加を得ながら、教育・医療・行政など各分野でさまざまな基盤整備と実証実験を行っていきます。

平成13年度総務省予算に係る補助事業実施状況

国においては、21世紀にふさわしい社会資本として情報通信基盤や教育・研究機関の施設整備が不可欠であることから、平成13年度から予算編成過程において「公共事業関係費」の範囲が見直され、情報通信格差是正事業が新たに公共事業関係費に組み入れられました。これに合わせて予算規模が拡大され、本県では下記の地域情報化関連事業が実施されています。

当初予算

地域イントラネット基盤施設整備事業

昭和町

広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業

東八代広域行政事務組合を代表とする石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、中道町、芦川村、豊富村（1組合5町3村）

富沢町を代表とする早川町、身延町、南部町（4町）

地域インターネット導入促進事業

増穂町

国土開発調整費

広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業

峡南広域行政組合を代表とする増穂町、鯉沢町、中富町、身延町、早川町、南部町、富沢町（1組合7町）

補正予算（1次）

広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業

竜王町、敷島町、双葉町

地域イントラネット基盤施設整備事業

須玉町

平成13年度補正予算（2次）の内示状況、平成14年度の国の当初予算額については、次号にて解説します。